

2022 年度
専門学校サンテクノカレッジ
学校関係者評価 報告書

評価対象期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

2023 年 11 月
学校関係者評価委員会

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	1
	1. 学校関係者評価の目的	
	2. 学校関係者評価委員名簿	
	3. 学校関係者評価委員会の実施状況	
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告	2
	1. 教育理念・目的・育成人材像	2
	2. 学校運営	2
	3. 教育活動	3
	4. 学修成果	3
	5. 学生支援	4
	6. 教育環境	4
	7. 学生の受入れ募集	5
	8. 財 務	5
	9. 法令等の遵守	6
	10. 社会貢献・地域貢献	6

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

専門学校サンテクノカレッジの学校関係者評価の目的は、以下の通りである。

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②本校の専門分野の関係団体、専門分野の関係業界、地元自治体、卒業生など、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属等
関係団体	有泉一廣	一般社団法人 山梨県情報通信業協会 事務局長
関係業界	※石原佳典	株式会社ジインズ ツューション開発部 部長
	渡邊哲也	株式会社エスピーシー 監査役
地元自治体	丸山英資	甲斐市 総合戦略部 部長
卒業生	井上満邦	サンテクノカレッジ同窓会 会長

※委員長

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 第1回委員会

- ・日時：2023年9月28日（木）10：00～12：00
- ・場所：専門学校サンテクノカレッジ 会議室

(2) 第2回委員会

- ・書面による学校関係者評価報告書の内容確認および承認。

II 学校関係者評価委員会 評価結果報告

1. 教育理念・目的・育成人材像（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 教育理念・教育目的に沿ってぶれずに活動できていることと、時代やニーズにあわせ目標や育成人材像が検討されていることを高く評価する。
- 教育理念・目的・育成人材像等は比較的初期より定まっており、芯がしっかりしていると思われる。
- 社会の発展に寄与する育成人材像が教育理念や目的に基づいた上で定められており、Webサイトでは教育理念を訴求力のある一文にして伝えている。
- 学校の理念や特色を明確に定め、外部にも公開されている。
- DX推進と併せ、新技術に対応できる人材育成に取り組まれている。
- 外部の情報収集や意見交換に努め、将来像などを随時見直している。
- 学生に求める人材像を明記し、それに必要な資格取得で実績を上げている。
- 国や産業界が推進しているDXについても、ビッグデータやAI等、先進的に取り入れている。

【改善すべき点】

- 特になし

2. 学校運営（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 教育目的を達成するために、常に業界の動向や企業のニーズを把握し、それをベースに運営方針を決定する姿勢を評価する。
- 項目2－6のコンプライアンスについては、社会状況の中で求められるものが常に広くなっていくため、その時々での達成はあっても常に努力し続けなければならない項目なので、不断の努力を期待する。
- コンパクトで堅実な学校運営を心掛けており、計画的に進められている。
- 運営方針については、教職員全員に事業計画の周知を図るとともに、内容の確認や評価が行われていることは適切な運営が行われていると判断できる。
- 各組織やテーマに応じて会議や検討会、委員会を設け会議を実施し、また、教員向けの諸規程も定めている。さらに活動内容をホームページで公開しており、学校運営の透明性を高めている。

【改善すべき点】

- 業界や地域に対し、学校のコンプライアンス体制に関わる研修がなかなかできないとの事だが、学校だけでできる事ではないので、焦らず長いスパンでチャンスがあれば実施するといった姿勢を忘れなければ、「適切」と評価できると考える。
- よりクオリティの高い教育と人材確保のためにも、もう少し有給休暇を取得してもよいのではないか。一例として有給5日以上ほかに特別休暇5日（有給）のような制度の構築を検討してみてはどうか。

3. 教育活動（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 積極的に教育に対して外部関係者の評価を取り入れ、評価の透明性や客観性を高め、常に改善していく姿勢を高く評価する。
- 学生の資格取得において、難関の情報処理安全確保支援士で昨年に引き続いて2名の合格者を出しており、学校側の取り組みの成果が出ている。
- 急速なデジタル化の進行や ICT 技術の変化を考慮し、的確に見直しが行われ方針が策定されている。
- 資格取得等に関しては、試験に合わせたカリキュラムで体系的に取り組み、資格取得に向けた指導体制が整えられている。
- コンピュータ技術だけでなく、一般的な業務知識（会計など）も組み込まれていて、より実践的な教育となっている。
- 教員の研究を支援する補助制度や、職員の能力開発のための研修を取り入れている。

【改善すべき点】

- 項目3－7 授業評価の実施・評価体制の有無について、資格試験等の合否という結果がわかりやすい授業であれば評価が安易だが、通常は人気投票になってしまい、学生の苦手科目への評価が辛くなることが予想される。評価基準の検討を慎重に行わねばならないと感じる。
- 全体的な授業評価の実施を行うべきではないか。
- DX 推進により人材確保が難しいなかで、副業制度の活用により、大手企業から非常勤職員の確保を検討してみてはいかがか。

4. 学修成果（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- IPA も含めた資格試験に多くの学生がチャレンジし、学生では合格が難しいとされている応用情報技術者試験や情報処理安全確保支援士試験に複数の学生が合格できている

ことは、学生の努力だけでなく、学校の風土や先生方の指導も大きな要因と考え評価する。

- IPA 等が実施する各種資格試験で合格者が増加しており、当校の客観的な評価向上となっている。
- 退学者を減少させるために、教員の各層で保護者も巻き込んでフォローしている（一定数の退学者の発生はやむを得ない）。

【改善すべき点】

- 前年と比較して、就職内定率の低下および退学率の上昇については、もう少し深掘りした分析が必要だと感じる。
- 就職内定率が低下している結果を踏まえ、低下の原因追及や分析を行うべきではないのか。
- 就職率向上に向けた取り組みは評価できるが、内定率の低下を踏まえ、さらなる改善を図り様々の対策を行っていただきたい。

5. 学生支援（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 専任のカウンセラーや相談室の設置は、経費や環境上の問題で困難であるため、それに代わりクラス担任をはじめ教職員が連携して、学生からの様々な相談に対応する仕組みを構築し、十分にそれらの問題を補えているので高く評価する。
- 学生同士のコミュニケーションを深めるために課外活動に対して補助金を支給し、その他の課外活動についても 2022 年度はコロナ禍のために中止となってしまったが、来年度も継続して積極的に支援を継続していく姿勢は評価できる。
- 学生一人ひとりの進路や就職活動に対し、きめ細やかな対応は評価できる。
- 学生に対し、相談、支援体制など組織体制が充実している。
- 教職員を中心に進路や生活に対する相談を実施している。また、経済的な支援や健康管理、サークル活動への支援も行っている。

【改善すべき点】

- 特になし

6. 教育環境（評価結果 / 適切：4名、不適切：1名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 学生が専門知識と技術を自由に学ぶためのコンピュータ設備やネットワークの環境が

常に整備されていて、休み時間や放課後なども自習でき、またその為の講義室や演習室も整備されている点を評価する。

- 項目6-2の海外研修の場を設けるつもりはないということだが、本校のカリキュラムを考えると、海外研修の必要性を感じないため、賛同する。
- 施設や機器の更新が計画的、定期的に行われており、教育環境の維持が堅実になされている。
- 近年コロナ禍で実施されていなかった消火訓練および応急手当講習を教職員に対して再開している。
- ネット環境をはじめ必要な設備が整えられている。
- 職員全員による心肺蘇生・AEDの活用講習の受講が行われるなど、緊急時における対策にも取り組まれている。
- キャンパス内の設備の改善や、コンピュータ環境の改善にも積極的に取り組んでいる。
- 積極的にインターンシップ等Face-To-Faceの学習に取り組んでいる。

【改善すべき点】

- 特になし

7. 学生の受入れ募集（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

ー委員コメントー

【評価できる点】

- コロナ禍で常に状況を判断し、対面での実施が困難な時は、Webを用いてオープンキャンパスを実施し、多くの学生に学校を知ってもらったことと、感染拡大の影響で参加できなかった学生に対しても、個別で学校見学を行ったことを高く評価する。
- コロナ感染のためにオープンキャンパスに参加できなかった高校生に対しても、個別での学校見学に対応したことは評価できる。
- 学生募集については、実績を検証した見直しは評価できる。
- 各種媒体（SNS、進学情報誌）を使って、昨年以上の成果を出している。

【改善すべき点】

- 募集活動については、学生の目線で学生と一緒に動画を作成してみたいかがか。また、オープンキャンパスなどは、メタバースを活用してみたいかがか。

8. 財務（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

ー委員コメントー

【評価できる点】

- コロナ禍の中で学生数の減少はなく、逆に増加傾向で、学校施設や設備の修繕も事業計

面に沿って実施できており、安定した財務基盤が保たれていることを評価する。

- 長年健全な経営が継続されている。
- 収支の推移により、適切かつ健全な財政運営がされていることは評価できる。
- 構内設備は老朽化に伴う機器の更新等、中長期的な計画に基づき対応を実施している。また、情報公開等を実施しており運営の透明性に努めている。

【改善すべき点】

- 特になし

9. 法令等の遵守（評価結果 / 適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 法令に従い適正な学校運営ができており、また自己評価や学校関係者評価の結果もオフィシャルサイトで公開する等、対応ができていることを評価する。
- 自己評価および第三者による評価を実施し、常に改善する姿勢で学校運営がされている。
- 自己評価および学校関係者評価報告書については、積極的に情報公開がされている。
- 法令等を遵守し、個人情報規程を作って運営している。また、ネットワークは外部と遮断してセキュリティを確保している。

【改善すべき点】

- 自己評価の実施と問題点の改善については、基本的に適切にできていると考えるが、改善が難しい問題について、現時点の環境では解決できないような問題は切り離して対応するために、担当教職員の状況確認の場があれば、更に良いと考える。
- 項目9-3の取り組みについて評価する。評価3の項目はこれ以上の取り組みが困難と思われるので、評価を4にしても良いと思う。ただ今後の取り組みで不足している点があるのであれば、具体的に記載し評価3のままで納得する。

10. 社会貢献・地域貢献（評価結果 / 適切：4名・不適切：1名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- サイバーパトロールモニター、交通事故防止対策のYouTube動画制作やチラシ&ポスター制作等、特に警察関係への貢献が高い。また、学生のボランティア活動を奨励・支援する学校の姿勢も高く評価する。
- コロナ禍が続くなかでも、可能な範囲で積極的に地域貢献を行い、社会に貢献している。
- 地域に根付いた社会貢献が行われている。
- 小学校への出前授業の実施、警察への動画提供、学校設備の利用など、地域連携活動を

継続的に実施している。

【改善すべき点】

- 項目10－2について、ボランティア活動を単位認定に含めない方針が理由で評価3となっているが、教科内容をボランティアで振り替えることはできないと思うので、学校の方針を支持する。ゆえに評価を4にしたらどうか。
- 甲斐市内の高校などへの出前講座の検討。